



株式会社 三城ホールディングス

本社所在地：〒108-0075 東京都港区港南四丁目1番8号 リバージュ品川14階

資本金：59億107万5千円

代表取締役社長：多根弘師（裕詞）

事業内容：眼鏡小売業

URL：http://www.paris-miki.com/



アプリ開発の「スピード」が決め手に

店舗でiPadを導入すると、デジタルカタログを中心とした接客時に使用する業務アプリのニーズが顕在化し、自社内で社内向けアプリケーションの開発を始めていました。社外の開発ベンダーに委託することも検討しましたが、委託コストの問題ではなく開発や更新のスピードが当社のニーズに即していませんでした。もちろん、初期開発だけではなく、最新情報をリアルタイムに店舗へ届ける仕組みも重要でした。その点「seap」は従来のサービスとは異なり、非常に短期間でアプリ作成が可能で、データもリアルタイムに更新できるため、アプリの開発や更新のスピードを重視していた弊社には最適なサービスでした。

アプリの開発がテンプレートで簡単に

店舗で利用する接客用のネイティブアプリケーションを開発する場合、開発時にはアプリの機能のみならず細かな動きを含めて考える必要があります。外部に開発を委託する場合であっても個別に検討を行う必要があります。アプリ開発を内製するのであれば、なおさら大変な作業です。「seap」では予めアプリのテンプレートが用意されているため、これらの課題を解決することができました。サイネージのアプリであれば画像を登録して、効果（トランジション）を選ぶだけでアプリが作成できるので、素早く簡単にアプリを作成できるようになりました。また、店舗数が多い（iPadの導入台数が多い）当社にとって、利用料がユーザー数無制限で月額固定であることも魅力的でした。

iPadを活用するための情報共有基盤に

お客様への接客時にはカタログアプリで商品の紹介を行い、接客でiPadを使用していない時にはiPadをサイネージとして活用するといったデバイスの有効活用を「seap」で開発したアプリを用いて実現しています。今後は、新たにリリースされた「ラーニングテンプレート」を用いて社内教育のアプリを開発したり、「フォルダテンプレート」を用いて一元的にファイル共有を行うためのアプリを開発し、「seap」をiPadを活用するための情報共有基盤として活用したいと考えています。